

お申込み方法

ホームページからお申込みください。受付確認後、こちらからメールにてご連絡させていただきます。

URL <https://www.kobe-bunka.jp/artmanagement2023/>



対 象 者	文化施設や芸術団体等にお勤めの方、大学等でアートマネジメントを学ぶ学生
定 員	講座3 各日程 80名 定員以上のお申込みがあった場合、人数調整をお願いすることがあります。
受 講 料	無料
受付開始日	令和5年5月26日～ 各講座2週間前まで
お 申 込 み	https://www.kobe-bunka.jp/artmanagement2023/list-apply/ その他お問い合わせは artmanage@kobe-bunka.jp ※連携大学の学生のお申込み方法は教員を通してご連絡します。

会場アクセス



講座1 講座2
神戸文化ホール
〒650-0017
神戸市中央区楠町4-2-2
<https://www.kobe-bunka.jp/hall/>



講座3
神戸市中央区
文化センター多目的のルーム
〒650-0031
神戸市中央区東町115番地
<https://www.kobe-bunka.jp/facilities/chuo/>



講座3
神戸市男女共同参画センター
(あすてつ KOBE) セミナー室
〒650-0016
神戸市中央区橘通3-4-3
<https://astep.city.kobe.lg.jp/>



社会とつながる企画をつくろう～入門

インターンシップ&舞台講座&アートマネジメント講座

開催期間 2023.6 ▶ 2024.2

2年目となる 2023 年度の講座では、昨年度のアンケートでの要望 1 位であった「事業制作」をテーマに選びました。講師は、現場で生き生きと活躍している世代が登場。いま、もっとも必要とされている舞台芸術や音楽を社会とつなぐ事業の制作をテーマとします。どなたでもすぐに活用していただけるように「入門」と銘打ち、基礎をひも解きながら学ぶ場とします。今回はスペシャル講演もご用意しました。世界で注目を集める演出家であり、SPAC・静岡県舞台芸術センター芸術総監督である宮城聰さんを招き、国際的な視点からの企画制作について伺います。

神戸文化ホールが主催する事業の現場にスタッフとして参加します。会場準備や受付、お客様誘導や後片付けに至るまでをトータルに体験。舞台裏の仕事の実状に触れると、アートマネジメントへの見方も変わります！

2023

6月中旬

オリエンテーション

📍 Zoomにて開催（2時間程度）日程は参加者にご連絡します。

▼ インターンシップ

6/16

fri.

「ウェルカムジャンボリー2023 コブホであそぼ!」事前準備・リハーサル

🕒 14:30-（5時間30分予定）

当日会場・運営の準備

6/17

sat.

「ウェルカムジャンボリー2023 コブホであそぼ!」

🕒 9:00-（8時間予定）

ホールが「新しい広場」「世界への窓」として機能することを目指して、誰でも気軽にホールに訪れ、さまざまな人たちと交流し、アートに親しむ年に一度のお祭り、それがジャンボリーです。今年は見て・聴いて・感じて・動いて体験するといった、より一層バリアフリーなプログラムを組み込んでいます。

7/23

sun.

「こどもコンサート」

🕒 10:30-（6時間予定）

神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団による、こども向け、家族向けのコンサートです。小さなこどもや障害のある方でも「劇場に歓迎される」と感じられるように、会場運営や演出に工夫をしてリラックスした雰囲気なかで実施します。また開場中には事前に即興合奏団ワークショップを受けたこどもたちが音楽家と一緒に発表をします。



こどもコンサート 小澤秀之

8/1

tue.

廃品打楽器製作ワークショップ(子供向け)

🕒 10:00-（6時間30分予定）

神戸市室内管弦楽団第159回定期演奏会（9/2）で独奏者をつとめる廃品打楽器奏者の山口ともによるミニコンサートと廃品（ごみ）から打楽器をつくるワークショップイベントです。小学生とその保護者を対象にしています。



10/21

sat.

開館50周年記念事業
「緑のテーブル 2017～神戸文化ホール開館50周年 Ver.～」

🕒 10:00-（8時間予定）

1932年にドイツの振付家クルト・ヨースが生み出した不朽の名作「緑のテーブル」をもとに、神戸の舞踊家 岡登志子が2017年に完全オリジナルとして創作発表した作品を50周年記念ヴァージョンとして再構成します。「反戦パレエ」とも呼ばれる原作の精神を受け継ぎ、時を越えて伝える普及のテーマを浮かび上げさせます。

2024

2/18

sun.

「音楽のまち神戸」スペシャルコンサート

🕒 11:00-（6時間30分予定）

クラシック音楽をジャズアレンジした作品の演奏で定評のあるジャズフルーティスト酒井麻生代らによるコンサート。神戸における音楽の代名詞＜ジャズ＞と＜フルート＞の融合で、ジャンルや世代の垣根を越えて幅広い観客層に神戸特有の音楽文化をアピールします。

連携大学

神戸大学、武庫川女子大学、芸術文化観光専門職大学、大阪音楽大学、エリザベト音楽大学、群馬県立女子大学、神戸学院大学

2023

10/20

fri.

「緑のテーブル 2017」のバックステージ案内

🕒 10:30-12:00

舞台監督のナビゲートで公演前の“現場”に立ち会い、準備の様子をリアルに観察し体感します。開演までの作業の様子や手順、また安全対策などを実際に目の当たりにしながら学びます。

大田 和司 Ota Kazushi 舞台監督 / 京都芸術大学舞台芸術研究センター技術監督
巨大な野外劇場を自ら建設して公演することで知られる劇団維新派で劇場プラン・舞台監督として、1992年より2017年の解散まで、ほぼすべての公演を手掛ける。「緑のテーブル 2017」企画協力のアンサンブル・ゾネとは現在に至るまで 20年近く携わっている。他にダンス、演劇、サーカスなど国内外で多数。

講座3

アートマネジメント講座

対象

文化施設や芸術団体等にお勤めの方、アートマネジメントを学ぶ学生

スペシャル講座

📍 神戸市中央区文化センター 多目的ルーム

2023

7/30

sun.

「世界への窓 ～日本の最先端の公共劇場 SPACの戦略」

🕒 14:00-16:00

宮城 聡 Miyagi Satoshi 演出家／SPAC- 静岡県舞台芸術センター芸術総監督
1959年東京生まれ。演出家。SPAC- 静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡邊守章・日高八郎各師から演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。2007年4月SPAC 芸術総監督に就任。14年7月アヴィニョン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演、アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。他の代表作に『王女メディア』『ペール・ギュント』など。 04年第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年第2回アサヒビール芸術賞受賞。18年平成29年度(第68回)芸術選奨文部科学大臣賞(演劇部門)受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。



(C) Ryota Atarashi

実践講座

📍 神戸市男女共同参画センター（あすてつぷ KOBE）セミナー室

各講座

後日、連携大学向けオンデマンド配信あり

2023

9/30

sat.

「地域資源による、コミュニティプログラムのつくりかた」

🕒 14:00-16:00

中脇 健児 Nakawaki Kenji 場とコトLAB 代表 / 大阪芸術大学准教授
“その場にいる人とその場だからできるコトを考える”をモットーに「場とコト LAB」を立ち上げ、社会の隙間に「あったらいいな」を創りだす。「遊び心」をキーワードに、アート、コミュニティプログラム、地場産業支援、教育、福祉など活動は多岐に渡る。近年はファシリテーションやワークショップの専門家育成にも努める。共著に『タウンマネージャー』『地域 × クリエイティブ×仕事 ～淡路島発ローカルをデザインする～』（ともに学芸出版）。



10/28

sat.

「演劇による、社会包摂プログラムのつくりかた」

🕒 14:00-16:00

古川 知可子 Furukawa Chikako 兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）広報交流専門員
近畿大学文芸学部芸術学科卒業。大阪市立大学大学院都市経営研究科修了。財団法人兵庫現代芸術劇場に入職。兵庫県立芸術文化センター推進室で、演劇事業「ひょうご舞台芸術」などを担当。ピッコロシアターへ転勤。広報、鑑賞事業、貸館、ワークショップ等の普及事業、研修などを担当。2015年 障害者への鑑賞サポート事業を立ち上げ、兵庫県立ピッコロ劇団公演において鑑賞サポートを実施中。ピッコロシアターが、「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」「日本アートマネジメント学会賞」等を受賞。



12/2

sat.

「地域と“共奏”する《音楽のまち》のつくりかた」

🕒 14:00-16:00

前田 明子 Maeda Akiko 公益財団法人川崎市文化財団 事業課担当係長
東京学芸大学在学中よりオーケストラ、ホール、音楽祭など音楽関連の仕事に幅広く従事。2014年に公益財団法人川崎市文化財団入職。ミューザ川崎シンフォニーホールの広報担当を経て、現在かわさきジャズ実行委員会事務局長、および「音楽のまち・かわさき」推進協議会事務局次長を兼任。川崎市が進める「音楽のまちづくり」に広く携わる。2023年、社会構想大学院大学でコミュニケーションデザイン修士（専門職）の学位取得。日本広報学会。



各講座事前申込制となります。お申込み方法については裏面をご確認下さい。

